

うるかむ

WELCOME YAMAGATA! COMMUNICATION FREE PAPER.



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・一面 鈴木酒造講演会・交流会／今年も開催！クリスマス会
- ・From 山形 ポーセラーツづくりに挑戦／地域のお手伝い
- ・From 山形 おもいで館宿泊週末保養
- ・みんなの声 ・しあわせココロの作り方 (63)
- ・おすすめ情報 ・編集部より
- ・[special Interview] 飯豊町 小屋 coffee 細淵貞夫さん・里久子さん
- ・インタビュー～ともにあゆむ～ 山口雅裕さん

第91号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 2600部

鈴木酒造講演会・交流会 ～長井に来て、そしてこれから～

酵母を頼りに酒蔵の再開を決意。「もう一度やってほしい」という町民の強い後押しもあり、一日も早く再開できる場所を探して、現在の長井市で酒蔵を再開しました。鈴木氏はこれまでの経緯に加え、地域文化を継承する酒への熱い想いや、再開後祝い酒ができた時は浪江町民など多くの方が喜んでくれた事、平成29年には雑誌DANCHEU



11月11日(土)長井市内の中央会館で「鈴木酒造講演会」長井に来て、そしてこれから」が開催され、市内外の市民や避難してきた方々約50名が集まりました。
講演を行った鈴木酒造店の杜氏・鈴木大介氏は、浪江町で津波と原発事故を受け避難をした後、震災2か月前に会津若松技術センターに保管していた



で「魚に合う日本酒」第一位、同年5月の新酒鑑評会では金賞を受賞した事などを発表し、「浪江町の人が今まで以上に前向きになれるように頑張っていきたい。」と語りました。
講演会後の交流会では、鈴木酒造の新酒が振る舞われ、いわき市出身で現在は学習塾を営む村田孝氏が「今後支援が終わっても、こうして支援に関わって下さった方々や避難して来た人同士が集まれる会を年に1、2回行っていきたいと思います。」と自主的な集まりの呼びかけをしました。
講演会と交流会を主催した長井市社会福祉協議会の担当者は、「震災から6年という年月が経った今、これからのために繋がる会を作りたかった。」と語り、避難者や市民の繋がりが更に深まった会となりました。

今年も開催！クリスマス会

米沢市



12月2日(土)に万世コミセンにて米沢市・おいで主催によるクリスマス会が開催され、避難者の親子、支援者など約130名が参加しました。フラサークルによるフラダンスに始まり、米沢すずめ衆「毘龍」の踊り、ピアノ演奏や「和楽塾」による和楽器演奏と続き、市のゆるキャラ「かねたん」と「けーじろー」が登場すると子供たちも大喜び。おまちかねのサンタさんがプレゼントを手渡すと、「サンタさんのお家はどこ?」「どうやって来たの?」など可愛らしい質問が飛び交いました。懇親会では女装した男性陣の「バブリーダンス」も飛び出し、会場は大いに盛り上がりました。この会は震災後、毎年続いているイベントですが、この日に向けて準備した様々な出し物が披露され、楽しいひと時を過ごしました。



From 山形

ポーセラーツづくりに挑戦



11月9日フロー

ラ寒河江を会場に「ふるさと交流広場」が行われ、寒河江の小角氏を講師に招き、ポーセラーツ作りが行われました。ポーセラーツは真っ白の湯飲み茶わんや小皿に転写シールを貼り、焼き上げる手軽に楽しめるハンドクラフト。当日は準備された転写シールは和風のものから洋風の花や動物のデザインなど数百種類あり、その中から参加者は「どれもステキで迷う！」と迷いながら選び、貼る作業を楽しみました。焼き上がりまでは約1週間。完成を待ち望んで、午後は交流会を楽しみました。



地域のお手伝い

寒河江市老人福祉センター祭り

11月10日寒河江市老人福祉センターを会場に、地域の高齢者が集まり催しを楽しむ「寒河江市老人福祉センター祭り」が行われ、寒河江市内の避難者が催しの手伝いなどを行いました。センターでは昨年から、寒河江や近郊の避難者が水曜企画で行われている手芸の手伝いを務めるなどして地域と関わってきましたが、この日もセンター祭りのこんにやく煮づくりを手伝い、地域で行われているイベントも楽しみながら更に交流を深めた日となりました。



From 山形

寄稿

山形週末保養inおもいで館2017



川西町玉庭にある素朴な木造校舎をリユースしている「おもいで館」を拠点として四季折々の自然体験を満喫する、パルシステム主催の山形週末保養も、早いもので5年目となりました。

2017年度を締めくくる11月保養は村山市に工場があるパル・ミートさんのご協力による手作りソーセージ体験からスタートし、出来立てのソーセージをパンに挟み夢中で食べました。夜は北海道から来たゲストによるラヴフルート奏者の演奏や、アフリカの太鼓を叩いて生命の躍動を感じるという企画があり、これも大好評のうちに終わりました。最終日は恒例の餅つき大会



で、力一杯ついたお餅を口一杯にほおばりました。
この企画は一泊二日の週末保養ですが、身体を整えるための食材にこだわった食事と、リフレッシュしていただけるような何かを毎回用意することを大切に、心ある協力者に支えられ、お陰様で何とか継続しています。次年度も4月から1回ペースで開催予定です。震災後、生活の拠点を福島県から山形県内に移されたご家族の参加も歓迎いたしますので、是非お問い合わせください。

【お問合せ】Team 毎週末みんなで山形
Facebook ページで「Team 毎週末みんなで山形」で検索

✉
 福島～米沢間の高速道路開通がすごく楽しみです。
 (福島市→飯豊町・30代女性)

✉
 今になって心に傷をもっていたことに気がきました。何気ない一言で、「私の居場所がないんだ。」と気付かされ、見よう、気付こうとしなかった自分の傷。私の居場所はここにはないって、福島なんだと。
 (郡山市→山形市・40代女性)



✉
 高速に乗り福島に帰りました。8,972mトンネルがたのもしく感じました。すごくよかったです。
 (福島市→米沢市・40代女性)

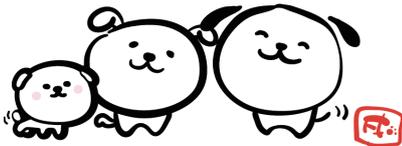
✉
 「わろてんか」朝ドラを毎日楽しみに見えています。笑いが人を幸せにするという事、私も見習いたいと思います。家族で笑っているよう頑張りたいと思います。そして、母親は家族の太陽でもあるから。
 (二本松市→米沢市・60代女性)

✉
 今年も息子達のサッカーシーズンが無事に終了(冬はフットサル)。毎週のように、早起き送迎…熱い戦いに…それより熱い保護者の応援！(笑)勝った喜びも負けた悔し涙も、全部かっこよかったな～！モンテの応援も沢山行って楽しみました！来シーズンのサッカーも忙しくなりそうだけど、とっても楽しみです(*^^*)
 (南相馬市→南陽市・30代女性)

✉
 今一番何が不安かという、将来の事。今、共働きでもいっぱいっぱいなのに子供達が大きくなってこのままで大丈夫なのか？とても不安です。マイホームなんて夢の夢…(泣)
 (南相馬市→上市市・30代女性)

「みんなの声」につぶやきを送ろう

あの人に伝えたい一言や、最近思う事、今の暮らしの中につぶやきなどを募集しています。はがき、又はメールでお送りください。みなさまからの投稿、お待ちしております！



- ※専用はがきは切手不要です。そのままポストに投函してください。
- ※投稿された内容は、誤字以外そのまま掲載させていただきます。
- ※特定の方の誹謗中傷などは、掲載を見送る場合もあります。



**ミアワセ
コラム**

しあわせココロのつくりかた
63

人は、どうしても自分の耳に自分なりの翻訳機をつけてしまうことが多いもの。相手が伝えようとしている真意を正しく聞くことは、案外と難しいものです。自分が使っている単語が相手の使っている意味と全く同じであるとは限りませんから、伝える側も聞く側も、真ん中に相手を尊重する思いと信頼を置くことが何よりも大事です。どんなに問題が生まれたとしても、相手を裁くことは、決して良い結果には繋がりません。問題の種は、意外と小さな誤解から始まっていることも多いもの。自分の聴き方、伝え方、受けとめ方の癖をもう一度チェックしてみてくださいね。

言葉を受け取る自分が変わり、言葉を伝える自分が変わることで、見えていた風景は自ずと変わってくるはず。新しい年を迎える前に心の中も大掃除。新年は美しい景色の心で迎えられますように。

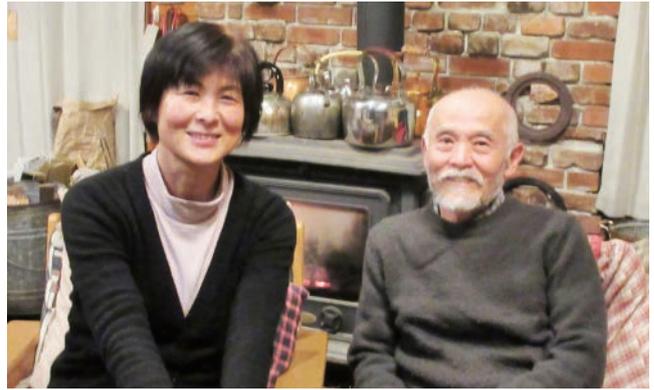
カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理
 カウンセリング・ルーム メール相談
 ryokusuinomori@yahoo.co.jp



Special Interview

小屋coffee
陶芸家
ラーバニスト (田舎暮らしを愛する人)

飯豊町 細漉 貞夫 さん
りくこ 里久子 さん



Q 震災の時は、どこで過ごしていましたか？

【貞夫さん】 生まれは東京です。山暮らしがたくて、30年前に神奈川県から福島県川内村に移りました。約2町歩の原野を買って整地をし、約7年かけて自分の手で基礎から家を建てました。外には畑や窯もあって、きれいに整備した庭にはブルーベリーや桃、アーモンドも生つていて、そこから眺める風景はまるで天国の様な場所でした。そこでは毎年、満月祭という音楽祭もあって、全国から沢山の人が集まり、賑やかな場所でした。震災が無かつたら、ずっとそこに住んでいたと思います。

【里久子さん】 新庄市生まれです。川内村にいた頃は、浪江町で陶芸を習い、益子焼の陶芸家の人から窯を譲り受け、陶芸で茶碗やオブジエを作つて販売したり、個展を開いたりしていました。ようやく軌道に乗つた頃に、震災が起こりました。震災後は、埼玉や東京に一時避難し、当時94歳だったおばあちゃんと夫は川内村に戻りましたが、私は放射能の事や、実家の母が父を残して亡くなった事もあり、新庄市へ避難しました。

Q 飯豊町に住むきっかけ、コーヒー焙煎を始めたきっかけは？

【里久子さん】 新庄市では、父の面倒を見ながら養護学校に勤め、生徒と陶芸をしたり、作品展をしたり、写真展に応募したり、そこで出来る事に色々チャレンジしました。2年後、夫が新庄市と川内村の間あたりに家を見つけ、私とおばあ

ちゃんとかまた3人で暮らそう」と引越しを決めてくれました。川内村の手をかけた家を手放すと聞いた時は、とてもびっくりしました。

昔からオーガニックな生活が好きで、コーヒーもオーガニック豆を買い、自分で焙煎して飲んでいました。この町に来てから、焙煎機を購入して味の研究を始め、地元の収穫祭や雪まつり、新庄などのイベントで「小屋カフェ」としてコーヒーを出しています。美味しいと言ってもらえた時は、本当に嬉しい。これからも美味しいコーヒーを目指したいです。

【貞夫さん】 できるだけ自然の中で建物が少ない場所を探して、この景色が気に入って決めました。家を購入してから、部屋を作り直し、お風呂やトイレ、暖炉や煙突を取り付けたり、自分で手を加えながら暮らしています。自分ではお金もかからない。ここは「田舎暮らし」の中でもハイレベルな場所。「ここに住んだら世界中どんな場所にも住めるぞ」という気持ちで楽しんでいきます。

Q 今後どのように過ごしていきたいですか？

【里久子さん】 年齢や慣習は関係なく夢を持って楽しい事を常に考え、やりたい事があつたらすぐにやり、辿つた道を膨らませていくときっと道筋が開けてきます。起こってしまった事はしょうがないから、良い

事にエネルギーを使っていきたい。ここに来て4

年目になります。年目になりませんが、毎日色んな

やりたい事を納得してやっているの、本当に楽しいです。部落の

おばあちゃんたちには毎日いろんなことを教わっています。これからは山に暮らす達人たちの知恵に驚きながら、日々学び、「自分がいいな」と思うこと、焙煎や焼き物、写真であつたりを、こつこつと作り続けたい。そしてここ小屋部落の山あいの暮らしの中で、自然と山の神様、部落の人たちに日々感謝していきたいと思つています。

【貞夫さん】 若い時は世界中を旅して、色々な場所に住んで暮らしていたから、ずっと旅をしながら生きてきたような感覚です。常に思うのは「人は自分の思考を現実化する」と。これからは楽しい現実を作っていきます。



<小屋coffee>
〒999-0421 西置賜郡飯豊町小屋 232
TEL : 0238-87-0582
メール : cotorico33@gmail.com

おすすめ情報

みんなで湯ったり雪遊び交流会

避難者・帰還者の交流会を開催します。福島に帰還したお友達も誘って、山形の冬を満喫しませんか。

日時：2月17日(土)

場所：ホテルサンチェリー寒河江・最上川ふるさと総合公園

参加費：大人 800円 子ども 500円(未就園児無料・小学生まで)

持ち物：スキーウェア・手袋・帽子・着替え

募集人数：20名

申込締切：1月25日(木)



スケジュール

9:40 寒河江市・ホテルサンチェリー集合

10:00 雪遊び

12:30 昼食交流会・入浴・お買い物など自由行動

15:00 解散

※降雪状況によって変更あり

【申込み・お問合せ】

福島こころの公民館 fucco TEL：023-674-6013

大日如来わらじみこしまつり (たかはた冬まつり)

旧二井宿街道に面した大日如来座像の前には、旅の安全を祈願し奉納された長さ4m、重さ600kgを越す「大わらじ」があり、雪の降る中、その「大わらじ」のみこしを裸の若者がかついで町内を練り歩き、健康祈願をする伝統行事です。みこしの担ぎ手の飛び入り参加も大歓迎です。

日時：1月7日(日)

場所：高島町中心商店街

スケジュール：

15:00 わらじみこし スタート

18:00 雪灯籠 点火

18:30 松明パレード スタート

19:00 お斎灯焼き 点火



【お問合せ】 高島町観光協会 TEL：0238-57-3844

みなさまからの情報をお寄せください！

■復興ボランティア支援センターやまがた

・住所：山形県山形市松山3丁目14番69号
(FM山形ビル1階)

・TEL：023-674-7311 FAX：023-674-7312

・Mail：kizuna@yamagata1.jp

・開館時間：9:00～17:00 ※土日祝日、年末年始休館

葉っぱ塾

縄文村スノーシュー・ハイキング2018

スノーシューは日本の「かんじき」にあたるものです。初めての方でも特別な技術は必要なく、楽しく雪上の散歩を楽しむことができます。ふかふかの雪と真っ白に染まった景色の中をのんびりと歩きます。運がよければ野生の動物に会えるかもしれません。

日時：1月21日(日) 1月28日(日) 2月4日(日)

場所：古代の丘資料館前(長井市草岡2768-1) 10:00集合

参加費：大人 2,500円 子ども 1,500円(5歳以上)

※家族参加割引あります。ご相談ください。

【お問合せ】 葉っぱ塾 TEL：090-5230-8819

山形市初市

約400年の伝統をもつ山形の風物詩。最上義光公の時代、山形には定期の市が立つ市日町があり、毎年1月10日に市神祭りとして、十日町から七日町にかけて多くの露店が立ち並ぶようになったのが始まりとされています。商業の株を象徴しての「かぶ」、長寿を表す「白ひげ」などの野菜、「初あめ」、「団子木」等の縁起物をはじめ多くの露店が立ち並び、山形市内外から約20万人を超す人出でにぎわいます。

日時：1月10日(水)

10:00～17:00

場所：山形市十日町・本町・七日町の国道112号線及び沿線



交通規制あり。駐車場は周辺の有料駐車場をご利用下さい。

【お問合せ】 山形商工会議所 TEL：023-622-4666

酒田日本海寒鱈まつり

日本海の冬の味覚「寒鱈汁」を堪能する酒田日本海寒鱈まつり。寒鱈とは真鱈のことで、味噌仕立てにした大鍋に身も骨も内臓も余すところなく入れ、豪快に煮たあつあつの郷土料理です。

前売り券には庄内米や寒鱈1本、地酒などがその場で当たる空クジなしの抽選券がついています。

日時：1月27日(土) 28日(日)

場所：中通り商店街・さかた海鮮市場・JR酒田駅前

料金：寒鱈汁1杯600円

※前売券700円

(寒鱈汁600円+お買物券100円+抽選券1枚)

寒鱈汁の販売は14:00までが目安ですが、売り切れの場合は終了となります。

【お問合せ】 酒田商工会議所 TEL：0234-22-9311

鶏だんごの雪中鍋

レシピ提供：在来作物案内人 鈴木淳子さん

<材料>

- ・鶏挽肉 400g
- ・塩 小 1/2
- [A]
- 砂糖 小 1
- 生姜汁 大 1
- 酒 大 2
- 醤油 小 2
- 白味噌 小 1
- 溶き卵 1個弱
- 小ネギ 2～3本
- ・白菜 300g～
- ・豆腐 1丁 (350g)
- ・生しいたけ 中 6枚
- ・春雨(乾) 50g
- ・ほうれん草 1/2束
- ・春菊 1/2束
- ・にんじん 少々(飾り用)
- ・だし汁 7カップ
- [B]
- 酒 50ml
- 味醂 50ml
- 塩 小 1と 1/2～

鶏だんご用

<作り方>

- ①ボールに、鶏挽肉に塩を入れ粘りが出るまで混ぜてから A を加え、さらによく混ぜ鶏だんごの種を作る。手に種を取り、絞り出すようにして団子の形にし、沸騰した湯へ入れて煮ておく。
- ②白菜は軸と葉に分け、軸はそぎ切りにし、葉はざく切りにする。その他に、白菜の葉を2枚茹でて冷ましておく。ほうれん草は長いまま茹でる。白菜の葉を巻きすに広げ、ほうれん草を巻きこんで、6等分に切る。
- ③豆腐はやつこに切り、しいたけは飾り切りにし、春雨はお湯で戻し、水に取ってから水気を切り 5～6cm に切る。
- ④土鍋に各材料を並べる。だし汁を煮立て、B で調味をし、土鍋へかける。
- ⑤各材料に火が通ったら、器に取り分け、大根おろしとポン酢で食す。



☆ブログ「鈴木淳子の楽しむ食育」もご覧ください♪ <http://ameblo.jp/hanamizuki-junko/>

インタビュー ～ともにあゆむ～

ふくしま生活・就職応援センター 山口 雅裕 さん

以前は情報機器の開発・設計業務に 30 数年間従事し、単身転勤生活も経験しました。2011 年の震災をきっかけに退職し、2012 年に縁があって今の仕事にめぐり合いました。

当初は福島市や県北地区の仮設住宅などを巡回し、就職相談を担当して参りました。機械相手の仕事が長く、対人の仕事に慣れるまで、しばらく掛かりましたが、一人ひとりと相談を繰り返し、決まった時はうれしく、やりがいにつながりました。夏場や真冬時の立ち話や、玄関先の犬に四苦八苦したことなども良い思い出です。

現在は山形県をはじめ関東地方などを巡回し、福島県に帰還される方の就職相談や、企業開拓スタッフと共に求職者側と企業側との思いの乖離が少なくなるように努めています。最新の求人情報を提供するとともに、根気強く親身なアドバイスを心がけています。単に仕事先を紹介するだけでなく、意外に気づいていないご本人の適性なども一緒に考え、ご希望に沿った就職につなげていければと考えています。



【お問合せ】

ふくしま生活・就職応援センター 郡山事務所
郡山市駅前 1-14-21 郡山花椿ビル 8F
TEL：024-925-0811
月曜～土曜 10：00～19：00
(日・祝・年末年始休)

県内 6カ所 (郡山・いわき・白河・南相馬・会津若松・広野) での窓口相談や電話相談
サポート内容：就職相談・生活資金・住居等の情報、就職セミナー・職業訓練等の情報提供

うるかむダウンロードはこちらから <http://kizuna-yamagata1.jp>

編集部だより

みなさまからの情報をお寄せください!

詳しくは復興ボランティア支援センターやまがたへ



Twitter



次号は 1月17日 発行です

情報提供や寄稿は
1月3日までに
お寄せ下さい。
お待ちしております!



避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元：つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
〒990-2412 山形県山形市松山三丁目 14 番 69 号
「復興ボランティア支援センターやまがた」
TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312
E-mail kizuna@yamagata1.jp
WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

facebook



<http://www.facebook.com/fvsc.yamagata>

- * 今年もあと数日で終了…。大掃除や年賀状作成などすることは山積みですが、いつも行動開始は年末ギリギリになってしまします。これも性格かも…(正)
- * 来年は戌年ですね。猫派の自分としてはネコ年もあればいいのにと思っています。ネコなので干支の順番はネズミ年の後ろとか。(送)
- * 山の中で車がスタックし、人は見当たらず、電波もなし。焦りました…。インタビューの細淵さんに救助され、無事生還しましたが、脱出グッズを車に載せておかなきゃな〜と反省しました汗。みなさま良いお年を!(多田)
- * 今年も恒例の「指なし手袋」の季節がやってきました。手先の作業ができるので、私にとっては冬の必須アイテムなのですが、いまだに他の人がしているのを見ることがありません。(海)

つながろう NET

<http://tsunagarou.net/>



「うるかむ」に掲載された今までの記事のすべてと、リアルタイムなおすすめ情報、イベント情報、支援団体情報などを掲載しています。ぜひご覧ください。

